

サンプル数の決定方針

管理番号	_____
会社名	_____
承認者/承認日	_____
決算日	_____
作成者/作成日	_____

前提条件

統制の種類及び統制の頻度及びサンプリング方法により、運用評価手続におけるサンプル数を決定する。

統制の種類

I 統制の種類は①～③に区分する。

	統制の種類
①	手作業による統制
②	アプリケーション統制
③	①②の混合型統制

II ③の混合型統制に関しては、①手作業による統制、②アプリケーション統制のどちらに依拠する程度が重要かにより区分を判断する。

統制の頻度

I 統制の頻度は①～⑥に区分する。

	統制の頻度	年間回数（目安）
①	日次で複数回の実施	250回以上
②	日次で実施	約200回～250回
③	週次で実施	52回
④	月次で実施	12回
⑤	四半期で実施	4回
⑥	年度で実施	1回

II 上記区分は整備状況評価手続における評価状況及び運用評価手続における母集団の設定の状況より最終的に判断を行う。

サンプル数の決定方針

サンプル数の決定方針

【統計的サンプリング】

統計的サンプリングによるサンプル数は、信頼度・許容誤謬率・予想誤謬率の基礎率に基づいて決定する。

【非統計的サンプリング】

①□ 基本サンプル数

統制の種類	統制の頻度等	サンプル数
手作業による統制	日次で複数回の実施	25件
	日次で実施	15件
	週次で実施	5件
	月次で実施	2件
	四半期で実施	1件
	年度で実施	1件
アプリケーション統制	—	1件

② 上記のアプリケーション統制(自動化された統制)は、IT全般統制が有効な場合を想定している。
IT全般統制が有効でない場合には、別途検討を実施する。

③ 統制の頻度が上記各区分の間に該当する場合には、上位の統制の頻度におけるサンプル数と母集団の10%を比較し、少ない方をもってサンプル数を決定する。

以 上